

埼玉県屋内50m水泳場整備運営事業  
審査講評

令和5年11月

埼玉県屋内50m水泳場整備運営事業審査委員会

埼玉県屋内50m水泳場整備運営事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、埼玉県（以下「県」という。）が実施する埼玉県屋内50m水泳場整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和5年5月12日公表、令和5年6月9日修正版公表）に基づき、提案内容の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和5年11月6日

埼玉県屋内50m水泳場整備運営事業審査委員会

委員長	有川 秀之
副委員長	安登 利幸
委員	内田 奈芳美
委員	大久保 菜穂子
委員	久保 潤二郎
委員	栗原 明宏
委員	小西 暢子
委員	島田 繁
委員	長岡 千晶
委員	星 奈津美

## 目 次

1 事業者選定の方法 .....	1
2 審査委員会の構成 .....	1
3 審査委員会の開催経過 .....	2
4 審査の方法 .....	2
5 審査の結果 .....	2
(1) 入札参加資格審査 .....	2
(2) 提案審査 .....	3
6 審査講評 .....	6
(1) 性能審査の講評 .....	6
(2) 総評 .....	9

## 1 事業者選定の方法

本事業は、設計・建設段階から維持管理・運営段階の各業務を通じて、選定事業者に効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供を求めるものであり、民間事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価して選定することが必要である。以上を踏まえ、県は、落札者の決定に当たっては、設計・建設能力、維持管理能力、運営能力、事業計画能力及び県の財政支出額等を総合的に評価するため、一般競争入札の総合評価落札方式により実施することとした。なお、この入札に係る調達は、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）の適用を受けるものである。

## 2 審査委員会の構成

県は、最優秀提案者の選定に当たり、専門的かつ客観的な視点から検討及び事業者提案の審査を行うため、学識経験者等で構成される審査委員会を設置した。

区分	氏名（敬称略）	所属／役職等
委員長	有川 秀之	埼玉大学教育学部教授
副委員長	安登 利幸	元亜細亜大学都市創造学部教授
委員	内田 奈芳美	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授
委員	大久保 菜穂子	順天堂大学スポーツ健康科学部前任准教授
委員	久保 潤二郎	平成国際大学スポーツ健康学部教授
委員	栗原 明宏	川口市副市長
委員	小西 暢子	元東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
委員	島田 繁	埼玉県県民生活部長
委員	長岡 千晶	公認会計士
委員	星 奈津美	2012年ロンドンオリンピック及び2016年リオデジャネイロオリンピックメダリスト

### 3 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、以下のとおりである。

日程	委員会	主な議題
令和4年9月26日	第1回審査委員会	・実施方針及び要求水準書（案）等
令和4年12月23日	第2回審査委員会	・特定事業の選定 ・落札者決定基準 等
令和5年2月7日	第3回審査委員会	・落札者決定基準 ・入札公告関係資料 等
令和5年9月5日	第4回審査委員会	・事業者評価方法 等
令和5年10月24日	第5回審査委員会	・事業者ヒアリング ・性能審査 ・最優秀提案者の選定、審査講評 等

### 4 審査の方法

審査は、事業者の入札参加資格を審査する「資格審査」及び提案内容等を審査する「提案審査」に分けて実施した。

「資格審査」は、入札説明書（令和5年5月12日公表）に定める参加資格要件に基づき審査を行った。

「提案審査」は、県で入札時の提出書類の確認、入札価格の確認及び基礎審査を行い、その結果を審査委員会に報告し、審査委員会で基礎審査等の結果を確認した上で、落札者決定基準に基づき具体的な提案内容の審査及び評価を行った。

### 5 審査の結果

#### (1) 資格審査

以下の3グループから参加表明書等（資格確認申請書等を含む）の提出があり、県は、3グループがいずれも入札説明書に定める参加資格要件を満たすことを確認した。

○入札参加資格確認者（入札参加資格確認申請時の受付順）

入札参加資格確認者	代表企業名
A グループ (前田建設工業グループ)	前田建設工業株式会社 関東支店
B グループ (大林組グループ)	株式会社大林組 東京本店
C グループ (三菱HCキャピタルグループ)	三菱HCキャピタル株式会社

## (2) 提案審査

### ア 入札書類の確認

入札参加資格を有する以下の1グループから入札時の提出書類の提出があり、県は、入札参加者に求めた入札時の提出書類がすべて揃っていることを確認し、審査委員会に報告した。

○入札参加者（入札時の提出書類受付順）

入札参加者	代表企業名
Aグループ (前田建設工業グループ)	前田建設工業株式会社 関東支店

### イ 入札価格の確認

県は、入札時の提出書類の提出があった「Aグループ」から提出された入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを確認し、審査委員会に報告した。

### ウ 基礎審査

県は、基礎審査の対象となった「Aグループ」の提案内容が、要求水準書に定める仕様・性能を満たしていることを確認し、審査委員会に報告した。

### エ 性能審査

審査委員会は、落札者決定基準に基づき、入札参加者名を伏せた「Aグループ」の性能審査（加点審査）を行った。

性能審査の配点は600点で、落札者決定基準に示す評価項目毎に、以下の表のとおり5段階で評価した。

評価	内容	評価点
A	特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCの中間程度である	各項目の配点×0.75
C	優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEの中間程度である	各項目の配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	各項目の配点×0.00

性能審査の結果は、以下の表のとおりである。

審査項目		配点	Aグループ 得点
中項目	小項目		
<b>事業実施に関する事項</b>		<b>105点</b>	<b>58.75点</b>
事業の取組方針及び 事業の業務体制	取組方針	25点	15点 11.25点
	業務体制		10点 5.00点
事業計画	資金調達計画	40点	20点 10.00点
	収支計画		20点 10.00点
各種リスクへの対応	リスク管理計画	15点	15点 3.75点
地域経済への配慮	地域経済への配慮	25点	25点 18.75点
<b>施設整備に関する事項</b>		<b>280点</b>	<b>216.25点</b>
施設整備方針の適切性	施設整備コンセプト	15点	15点 15.00点
施設配置・外部計画の適切性	配置・外構計画	20点	20点 15.00点
建築デザイン	景観及び外観デザイン	25点	15点 7.50点
	内部デザイン		10点 10.00点
施設計画の有効性	ゾーニング・動線計画	110点	15点 11.25点
	プール計画		45点 45.00点
	競技力向上や一般利用者の健康づくりに資する施設		15点 11.25点
	関連諸室計画		20点 20.00点
構造、防犯・防災性	ユニバーサルデザイン・安全性	15点	11.25点
	構造及び耐震化への配慮	建物と大空間の安全性能	10点 5.00点
		防犯・安全性	10点 7.50点
防犯・防災性への配慮	災害・緊急時の安全確保	10点	7.50点
環境性、保全・経済性	環境への配慮	50点	20点 15.00点
	保全性・経済性への配慮		環境負荷低減・省エネルギー ライフサイクルコストの工夫
施工計画	工事の安全性・工期遵守	15点	15点 7.50点
開業準備業務	開業準備業務の取組方針及び業務体制	15点	5点 2.50点
	開業準備業務全般		10点 10.00点
<b>運営に関する事項</b>		<b>150点</b>	<b>116.25点</b>
運営業務	運営業務の取組方針及び業務体制	150点	15点 11.25点
	スケジュール及び利用料金		20点 15.00点
	アスリートの競技力向上		25点 18.75点
	県民の健康増進・スポーツ実施率の向上		20点 15.00点
	北スポーツセンター等周辺施設との連携		20点 15.00点
	広報・情報発信業務		10点 5.00点
	その他運営業務		15点 11.25点
	自由提案事業		25点 25.00点
<b>維持管理に関する事項</b>		<b>65点</b>	<b>32.50点</b>
維持管理業務	維持管理業務の取組方針及び業務体制	65点	20点 10.00点
	維持管理業務		25点 12.50点
	修繕・更新業務		20点 10.00点
<b>合計（定性評価値）</b>		<b>600点</b>	<b>423.75点</b>

## オ 価格審査

価格審査については、入札価格を次の方法で得点化した。価格評価値の計算に当たっては、小数点第3位以下を四捨五入した。

$$\text{価格評価値} = \text{価格審査の配点 (400点)} \times \frac{\text{最も低い入札参加者の入札価格}}{\text{入札参加者の入札価格}}$$

入札価格は以下のとおりである。

	Aグループ
入札価格（税抜）	19,145,094,277円

## カ 総合評価値の算出及び最優秀提案者の選定

定性評価値と価格評価値を合算し、総合評価値を算出した。

	Aグループ
定性評価値（性能審査）	423.75点
価格評価値（価格審査）	400.00点
総合評価値	823.75点

審査委員会は、Aグループを最優秀提案者として選定した。

### 【最優秀提案者】 Aグループ

#### ・代表企業

前田建設工業株式会社 関東支店（建設）

#### ・構成員

シンコースポーツ株式会社 埼玉支店（運営・維持管理）

#### ・協力企業

株式会社大建設計 東京事務所（設計・工事監理）

伸明建設株式会社（建設）



## 6 審査講評

審査講評は、次のとおりである。

### (1) 性能審査の講評

#### ア 事業実施に関する事項

評価項目	審査講評
事業の取組方針及び事業の業務体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・県民が待望した県内初のプール施設の目的を十分に把握したコンセプトを掲げ、具体的な取組が定められている点が評価できる。</li><li>・最先端の情報を定期的に取り入れ、競技力向上に限らない幅広い利用者のニーズの変化に対応する点や、各分野のスペシャリストの知見を踏まえた設計・運営を提案している点が評価できる。</li></ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・立地地域の特性や類似施設の実績を踏まえ、明確な算出根拠に基づいた収支計画が提案されている点が評価できる。</li></ul>
各種リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・本事業がもつリスクの洗い出しと対策検討とともに、財務モニタリングに関する具体的な方策が提案されている点が評価できる。</li></ul>
地域経済への配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域経済への好影響を生み出す方策として、具体的な発注金額や地元での積極的採用を提案している点が評価できる。</li><li>・障害者の積極採用を提案している点が評価できる。</li></ul>

#### イ 施設整備に関する事項

評価項目	審査講評
施設整備方針の適切性	<ul style="list-style-type: none"><li>・基本計画に定めた方針に沿って、具体的かつ実現可能な施設整備コンセプトが定められている点が評価できる。</li><li>・専門知を取り入れながら、国際基準の施設にする方針を掲げている点が評価できる。</li></ul>
施設配置・外部計画の適切性	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺への影響にも配慮しつつ、施設の利用シーンを踏まえたアプローチ動線が計画されている点が評価できる。</li><li>・誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した外構計画が評価できる。</li></ul>
建築デザイン	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域と親和性がある外観・外装を提案している点が評価できる。</li><li>・建築内部空間の視認性の向上や、県産材と市の特産品の活用による地域性を踏まえた空間デザインが評価できる。</li></ul>
施設計画の有効性	<ul style="list-style-type: none"><li>・大会・イベント開催時に混雑が発生しないよう、分散退場を可能とする提案が評価できる。</li><li>・ゾーニング等、要求水準書に示した考え方に基づき、十分に運用面や機能性に考慮した提案となっている点が評価できる。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際大会等で活用された実績のあるプール設備を導入している点が評価できる。</li> <li>・言語の違いや障害の有無等に関わらず、施設を利用できる点が評価できる。</li> <li>・可動床を有効活用した水泳以外の多目的運動に係る床材の提案が評価できる。</li> <li>・アスリートの競技力向上が期待できる具体的な提案が評価できる。</li> </ul>
構造、防犯・防災性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術を活用した安全確保や、プライバシー等に配慮した整備の提案が評価できる。</li> <li>・浸水を想定した諸室配置や、避難場所・避難所として十分な設備を具備している点が評価できる。</li> <li>・災害時のみならず、平時の転倒や落下に対しての安全性に考慮した提案が評価できる。</li> </ul>
環境性、保全・経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーや未利用エネルギーの活用等、環境に配慮した計画が評価できる。</li> <li>・ランニングコストや維持管理費の縮減が期待できる提案が評価できる。</li> </ul>
施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人の健康に配慮しつつ、施工効率を高める工法を採用し、工期を遵守することを提案している点が評価できる。</li> <li>・隣接する中学校の登下校時間への配慮の提案が評価できる。</li> </ul>
開業準備業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を考慮した予約や支払の方法を提案している点が評価できる。</li> <li>・活況な開館式典を期待できる提案が評価できる。</li> </ul>

#### ウ 運営に関する事項

評価項目	審査講評
運營業務の取組方針及び業務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家や大学と連携した取組により、県民向け事業の展開を提案している点が評価できる。</li> </ul>
スケジュール及び利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内スポーツ施設の実績を踏まえたニーズ調査に基づき、年間を通じて賑わいを創出する計画を提案している点が評価できる。</li> </ul>
アスリートの競技力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際大会等で活用された実績のあるプール設備を利用できる環境を活かした提案が評価できる。</li> <li>・強化合宿等の誘致を促進することを目途とした、宿泊施設等との連携が評価できる。</li> </ul>

県民の健康増進・スポーツ実施率の向上	・豊富なスポーツ教室の開催や、オリンピック・アスリートの招聘等により、スポーツ実施率の向上や施設の稼働率向上に向けた取組が評価できる。
北スポーツセンター等周辺施設との連携	・供用開始前からの十分な協議の実施により、市内スポーツ関連団体との連携や神根運動公園全体を巻き込んだ地域イベントの開催等を通じて、新たなにぎわい創出を図る提案が評価できる。
広報・情報発信業務	・機関誌の発行やSNSの活用等、事業認知度を高める取組を提案している点が評価できる。
その他運營業務	・先端技術を活用した事故防止策を提案している点が評価できる。 ・公共交通利用者の利便性増進に向けたシェアサイクルポートの整備の提案が評価できる。
自由提案事業	・施設の設置目的に則った、多様な自由提案事業が提案されている点が評価できる。

## エ 維持管理に関する事項

評価項目	審査講評
維持管理業務の取組方針及び業務体制	・ICT技術の活用等による業務効率化を図る提案が評価できる。 ・豊富な実績を有するスタッフを配置している点が評価できる。
維持管理業務	・業務効率化を実現する技術を活用する他、環境に配慮した取組を提案している点が評価できる。 ・災害・緊急事態に迅速に対応できる体制が評価できる。
修繕・更新業務	・修繕・更新を円滑に実施するための方策が提案されている点が評価できる。

## (2) 総評

本事業への応札はAグループのみであったが、その提案内容は、県が令和3年度に策定した本施設の基本計画の理念や、本事業の目的を踏まえたうえで、県が要求する水準を上回る優れた提案であった。本事業に応札し、創意ある提案をいただいたAグループに敬意を表したい。

審査委員会は、落札者決定基準に基づき厳正かつ公正に審査及び評価を行い、確かな経験に基づく安定した事業実施、競技力向上と一般利用者の健康づくりの双方を実現する施設計画、豊富なスポーツ教室や各種プログラムの提供による運営計画等を評価し、Aグループを最優秀提案者として選定した。

今後、最優秀提案者として選定されたAグループが県と事業契約を締結し、本事業を実施するに当たり、審査委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、今後、県と十分な協議を行い、特に以下の点について配慮されることを要望する。

- ・川口市をはじめ周辺地域がもつ特性や歴史、周辺環境に配慮した施設整備の実現に努めること
- ・アスリートや県民のニーズの変化に柔軟に対応し、サービスの向上に努めること
- ・行政等と連携し、利用者の交通利便性の向上に努めること
- ・事業期間を通じて、地域とのコミュニケーションを図ることで、神根運動公園全体を巻き込んだにぎわいづくりに尽力すること

事業実施に当たり、県と最優秀提案者とのお互いの経験とノウハウが合わさった良好な連携のもと、最優秀提案者においては、県民ニーズに合致した質の高い公共サービスの提供のため、尽力されるよう期待するところである。